

DPC 制度に係る当面の課題等

平成 22 年改定での対応を踏まえ、次回改定に向けた DPC 制度に係る当面の検討課題等については次の通り。

1. 指摘されている課題等

(1) 平成 22 年度改定における附帯意見

平成 22 年度診療報酬改定以降順次実施する DPC の調整係数の廃止・新たな機能評価係数の導入については、その影響を十分に評価するとともに、これを踏まえながら、今後、最終的に設定する調整係数廃止後の評価方法等について引き続き検討を行うこと。また、併せて高額薬剤の取り扱い等についても検討を行うこと。

(2) 中医協総会における診療側・支払い側の意見

< 1 号側 >

調整係数から新たな機能評価係数への円滑な置換えを検討するとともに、今回導入が見送られた項目の継続的検討を進める。

【主な調査内容】 新たな機能評価係数導入後の影響

< 2 号側 >

【具体的に検討すべき主な項目】

- 新機能評価係数の決定プロセスの可視化
- 調整係数廃止後の評価方法の在り方
- DPC における高額薬剤（抗がん剤等）の適切な取り扱いの検討

【今後実施すべき調査内容】

- 調整係数の廃止・新機能評価係数の導入の影響の調査（→DPC 評価分科会）
- クリニカルリサーチにおける DPC の弊害の調査

(3) 平成 22 年 5 月 26 日総会での主な意見（DPC 導入の影響評価に関する調査について）

- 再入院率等、従来からの調査項目を調査するべきか否か検討すべき
- 「質の指標」について具体的な項目の内容を明確にすべき
- 特別調査の内容については、基本小委でも検討すべき

2. 今後の検討課題の整理（案）

- (1) 平成 22 年度特別調査の内容の整理
- (2) 調整係数から新たな機能評価係数への置換えについて
 - 平成 22 年改定導入項目の評価
 - 新たな機能評価係数も含めた医療機関別係数の全体像
 - 円滑な置換えのためのスケジュールのあり方
 - 次回改定で導入する項目の検討
- (3) 包括評価のあり方について
 - 抗がん剤をはじめとした高額薬剤の取り扱い
 - 包括評価の特性を踏まえた包括範囲の整理
 - DPC の精緻化との関係整理
- (4) その他

機能評価係数Ⅱの考え方の整理

＜評価すべき方向性＞

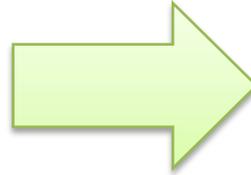
1. 全医療機関
が目指すべき
望ましい
方向性

医療の透明化

医療の効率化

医療の標準化

医療の質の向上



＜平成22年度改定で対応した項目＞

データ提出係数

効率性係数



2. 社会的に
(地域で)
求められている
機能
(地域における
医療資源配分
の最適化)

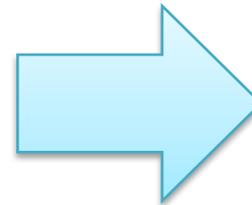
高度・先進性

総合性

重症者診療機能

地域における
基本診療機能(4疾病等)

政策医療機能(5事業等)



複雑性係数

カバー率係数

地域医療係数



救急医療係数

